



図7. 各種の交尾器中央片 (♂), 受精囊 (♀)。

る可能性があり, すべて再検討を要する. 国外の記録としては, ロシア以外に韓国と北朝鮮からの報告がある.

計測値の平均 (n = 20) : BL, 3.71; FBL, 1.81; AL, 0.79; PL, 0.68; PW, 0.80.

国内の分布: 北海道, 本州, 四国, 九州; 淡路島.

#### エゾセスジヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Triochara) nubis* (Assing, 1995)

(図 3, 4c, 5c, 6-7)

丸山 (2002) により北海道から記録された. 日本からは北海道の太平洋沿岸のみで確認されており, 少ない種である. Assing (1995) によりロシア極東から新種記載され, 北海道からカムチャツカ半島にかけて分布する.

計測値の平均 (n = 20) : BL, 4.26; FBL, 2.04; AL, 0.95; PL, 0.73; PW, 0.89.

国内の分布: 北海道.

#### 引用文献

Assing, V., 1995. The Palearctic species of *Emplenota* Casey,

*Polystomota* Casey, *Triochara* Bernhauer and *Skenochara* Bernhauer & Scheerpeltz, with descriptions of three new species (Coleoptera, Staphylinidae, Aleocharinae). *Beiträge zur Entomologie*, 45 (1): 217-237.

丸山宗利, 2002. 北海道の海岸性ハネカクシ. *昆虫と自然*, 37 (12): 17-21.

Maus, C., Peschke, K. & Dobler, S., 2001. Phylogeny of the genus *Aleochara* inferred from mitochondrial cytochrome oxidase sequences (Coleoptera: Staphylinidae). *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 18 (2): 202-216.

Song, J.-H. & Ahn, K.-J., 2013. Molecular phylogeny reveals multiple origins of seashore colonisation in the genus *Aleochara* Gravenhorst (Coleoptera: Staphylinidae: Aleocharinae). *Invertebrate Systematics*, 27: 239-244.

Weise, J., 1877. Japanische Staphylinidae [sic] und Pselaphidae. In: *Beiträge zur Käferfauna von Japan, meist auf R. Hiller's Sammlungen basiert. Deutsche Entomologische Zeitschrift*, 21: 88-100.

Yamamoto, S. & Maruyama, M., 2012. Revision of the seashore-dwelling subgenera *Emplenota* Casey and *Triochara* Bernhauer (Coleoptera: Staphylinidae: genus *Aleochara*) from Japan. *Zootaxa*, 3517: 1-52.

山本周平・丸山宗利, 2013. 日本産ヒゲブトハネカクシ属 *Aleochara* の種同定の手引き I. 海浜性 *Emplenota* 亜属. さやばねニューシリーズ, (9): 1-5.

(2013年6月10日受領, 2013年6月17日受理)

#### 【短報】本州におけるヘリアカゴミムシダマシの記録

ヘリアカゴミムシダマシ *Cenoscelis lateralis* (Boheman, 1858) は, インドから東南アジア一帯, さらにマリアナ, ハワイにかけて広い分布域をもつゴミムシダマシである. 日本では南九州から琉球列島にかけて分布しているものの, 本州における記録は知られていない. 筆者らは三重県で採集された標本を所持しているので報告しておきたい.

1♀, 三重県菰野町竹成, 31-VII-2012, 市川太採集,

秋田勝己保管.

市川が勤務する工場内で得た. 工場内には中国杭州から輸入された荷物があつたことから, これにまぎれて移入された個体である可能性が否定できないものと思われる.

(秋田勝己 514-0819 津市高茶屋 7-8-12-207)  
(市川 太 510-1312 三重郡菰野町竹成 2245-45)